

東区地域福祉計画・地域福祉活動計画(2021～2026)
令和3年度実績一覧

【基本理念】

「地域の人々とのふれあいや支えあいのなかで、
みんなの顔が見え、元気で安心して暮らせるまち」

基本目標1 支えあい、助けあい、つながりあうまちづくり

◎地域で暮らす誰もが安心して暮らすために、人と人、人と社会がつながり、支えあい、助けあうまちづくりを進めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1)地域で気軽に助けあえる関係をつくりましょう										
	見守り訪問による高齢者の実態把握	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に見守り訪問を実施して生活の様子を確認するとともに状況に応じてふさわしいサービスへの誘導を図る。	健康福祉課	訪問件数	継続	7,991件	7,309件	6,100件	介護保険サービス利用者増加により対象者が減少した。	
	地域福祉コーディネーター育成事業	福祉課題の解決に導く「つなぎ役」として、地域福祉の知識・技術・能力を備えた「地域福祉コーディネーター」を育成する。	福祉総務課	受講者数(累計)	継続	182人	200人	205人	令和2年度に引き続き、感染症対策のため、オンラインによる研修を実施した。対面形式に比べ、参加のハードルが高く、同業者との情報交換等の機会が減っている。	
	地域活動補助金【地域福祉・地域計画策定】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	11件	8件	7件	世代間交流等の活動が継続的に行われている。	
	ごみ出し支援事業支援金	高齢者・障がい者等のごみ出しが困難な世帯に対して、ごみ出し支援を行う団体へ支援を行う。	廃棄物対策課	件数	継続	17,187件	18,035件	17,899件	利用件数は減少したが、登録団体は増加している。R3年度東区では4団体が新規登録しており、制度の周知は着実に図られているが、潜在的な利用者の掘り起こしのため今後も制度の周知に努めていく。	
	歩道除雪奨励金交付制度	市管理道路の歩道除雪において、市民団体が自主的に実施する歩道除雪に対し奨励金を交付する。	建設課	回数	継続	0回	124回	54回		
	小地域福祉活動(支会活動)の推進	東区社会福祉協議会支会による小地域での福祉活動の充実を図るため、支会活動助成を行う。	区社協	実施団体数	継続	12地区	11地区	12地区		
	地区単位での地域福祉懇談会の開催	各地区ごとに懇談会を開催し、地域福祉活動計画の地区目標の推進を図る。	区社協	実施回数	継続・充実	9地区	12地区	6地区		
	「ご近所だんぎ」の開催	地域で支えあうまちづくりについて考える機会として、地域課題をテーマに学習会を実施する。	公民館	受講者数(累計)	継続	延べ286人	延べ326人	延べ267人	コロナ禍の影響で参加者同士の意見交換ができなくなっている。	
	まごころヘルプ事業	住み慣れた地域で安心して暮し続けるために、住民、団体が会員となり、有償で助け合う地域住民参加型の在宅福祉サービス(助け合い活動)を実施する。	区社協	登録者数	継続	利用会員 165人 提供会員 70人 賛助会員 13人	利用会員 149人 提供会員 61人 賛助会員 6人	利用会員 127人 提供会員 54人 賛助会員 5人	まごころヘルプ事業は令和4年3月末で事業廃止となった。	
	地域福祉推進フォーラムの開催	「東区地域福祉計画・地域福祉活動計画(愛称:東区地域ふれあいプラン)」の推進のため、東区地域福祉推進フォーラムを開催する。	区社協	参加者数	休止	第10回 認知症「予防」の今とこれから～やってみようコグニサイズ! 参加者 129人	開催なし	開催なし	コロナ禍により中止となったが、同内容で令和4年5月17日に開催した。	
	CSWによる生活課題への相談支援	個別課題から地域課題へつなげ、地域住民とともに、生活課題の解決を図る。	区社協		継続	地域から孤立した単身高齢世帯に対する相談支援等	ごみ屋敷状態の独居男性世帯に対する相談支援等	専門職の介入を拒み課題から抜け出せずにいる世帯の相談支援等	地域から孤立した多問題世帯からの相談が増えている。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(2)地域活動・ボランティア活動に気軽に参加できる仕組みをつくりましょう										
学校支援ボランティア		学校の教育活動について、地域の教育力を生かすため、保護者、地域人材や団体、企業等がボランティアとして学校をサポートする。	地域教育推進課	ボランティア数	継続	延べ52,235人	延べ56,952人	延べ49,759人	コロナ禍においても実施可能な登下校指導や環境整備等の取組にボランティアから参加してもらったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により受け入れを制限せざるを得ない状況もあり、参加ボランティアの延べ人数は前年度より減少した。	
ボランティア・市民活動センターの運営		ボランティアに関する相談を受け付け、活動先の紹介やボランティアの紹介等を行う。	区社協	相談件数	継続	96件	89件	77件		
元気カアップサポーター事業		65歳以上の高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じて、いきいきとした地域社会づくりに貢献するとともに、活動する人自身の介護予防の推進を図る。	区社協	受入協力機関数・登録者数	増	73施設 524人	75施設 530人	81施設 538人	施設数・登録者数ともに微増したが、コロナ禍により活動数は少なかった。	
認知症サポーター養成講座		企業や住民、行政からの依頼により、認知症の方への支援と理解を深めるための講座を開催する。	区社協	実施回数・参加人数	継続	2回 31名	開講なし	開講なし		
ボランティア・市民活動育成事業(ボランティア養成講座)		ボランティア意識の醸成を図りながら、ボランティア・市民活動への参加を促し、活動の活性化につなげていくため、地域住民、企業等を対象に各種研修会や講座を開催する。	区社協	講座数・参加者数	増	・ボランティア出前講座 39回 参加者 909人 ・ボランティアきっかけづくり講座 5回 参加者 50人	・ボランティア出前講座 16回 参加者 224人 ・ボランティアサロン 15回 参加者 162人	・ボランティア出前講座 15回 参加者 314人 ・ボランティアサロン 18回 参加者 288人 ・ボランティアきっかけづくり講座 1回 参加者 28人	ボランティアサロンを継続し、きっかけづくり講座も再開することができた。	
学生向けボランティア講座		夏休み期間を利用し、学生がボランティア活動に関心をもつ機会をつくり、今後のボランティア活動につなげる。	区社協	参加者数	継続	サマーキャンプ ボランティア 東区参加人数 27人	未実施	未実施	コロナ禍により中止となった。	
ボランティアフェスティバル		ボランティアグループ、団体の活動内容を紹介する機会と情報交換の場をつくるとともに、ボランティア活動を知り、ボランティア活動のきっかけをつくることを目的に開催する。	区社協	参加団体	縮小・変更	未実施	未実施	未実施	コロナ禍により中止となった。	
ボランティアの活動支援		ボランティア活動を行っている方々の情報交換の場を設け、活動における悩みの解消やさらなるボランティア活動の推進を図る。	区社協	実施回数・参加人数	継続	ボランティア登録 64団体 1,499人 個人 34人 交流会 1回 49人 ボランティア保険加入数 活動保険 1,109人 行事用保険1,180件	ボランティア登録 47団体 854人 個人 24人 ボランティア保険加入数 活動保険 807人 行事用保険793件	ボランティア登録 48団体 1,204人 個人 24人 ボランティア保険加入数 活動保険 860人 行事用保険 985件	コロナ禍でボランティア活動の場や地域福祉活動が少なくなり、登録者数・保険加入者数が減少した。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(3)地域で子育て支援ができる仕組みをつくりましょう										
	わいわいひろば 子育て支援事業	東区プラザ内「わいわいひろば」で、親子・地域・世代間交流イベントを実施する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	150回 6,192人	142回 2,976人	163回 3,085人	感染症拡大予防に配慮し、少人数で開催数を増やすなどの対応を取った。	
	NPプログラム	0歳から5歳までの子どもをもつ親を対象に、それぞれに抱えている悩みや関心のあることをグループで出し合って話し合いながら、自分にあった子育ての仕方学ぶ。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	3回 29人	2回 20人	4回 32人	感染症拡大で子育て世代の方の交流機会が減少したため、情報収集の場として期待が高かった。	
	BPプログラム	初めて赤ちゃんを育てている母親を対象に、「子育て仲間づくり」、「0歳児の育児に必要な少し先を見越した基礎知識の学習」、「親子の絆づくり」を支援する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	5回 95組	8回 73組	8回 66組	感染症拡大で病院などによる産後ケアが減少しており、子育てに関する知識を得る機会として期待が高かった。	
	親子ふれあい広場 子育て事業	未就園児などを対象に、親子あそび指導者による親子遊びを行い、親子のふれあう機会・場をつくる。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	7～12カ月：10回 655人 1～3歳：4回 265人	7～12カ月：11回 439人 1～3歳：4回 200人	7～12カ月：7回 238人 1～3歳：8回 321人	実体験により親子のふれあい方を習得する良い機会を提供できている。	
	子育てイベントや講演会の開催	子育て世代を対象に、講演会を開催する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	1回 1,000人	—	—	東区の子育て支援施設のPRを兼ねて開催して来たが、各施設の認知度も上がっていることから、今後は各施設でのイベントとして進めて行く。	
	CAPプログラム	子どもが暴力から自らを守るための知識や技能を身につける人権教育を実施する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	4校 633人	1回 8人	5回 37人	こども創作活動館、い〜てらすを会場として開催、施設を利用する子どもと保護者、施設職員を対象として実施した。	
	児童虐待防止研修会	子ども支援関係機関などを対象に、虐待防止を強化するための研修会を開催する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	3回 121人	3回 107人	2回 52人	虐待防止に向け、心配な状況を把握した際の迅速な情報共有について研修した。	
	こんにちは赤ちゃん訪問事業	生後4か月になるまでの全ての乳児と産婦を対象に訪問を実施し、保健指導や育児情報の提供を行い、地域における育児支援につなげる。	健康福祉課	訪問件数	継続	実人数：2,151人 延べ件数：2,501件	実人数：2,125人 延べ件数：2,442件	実人数：1,936人 延べ件数：2,679件		
	育児相談	育児全般又は育児に関する悩みや不安について個別相談を行うことにより、子育てを支援する。	健康福祉課	相談件数	継続	実人数 637人 延べ件数 1,316件	実人数 157人 延べ件数 310件	実人数 233人 延べ件数 446件	令和2年度から予約制で実施した。	
	こども創作活動館	文化活動や遊びを通して、創造力豊かで健全な子どもの育成を図る。	健康福祉課	利用者数	継続	29,214人	27,072人	26,117人	コロナ感染拡大防止のため臨時休館とした期間もあったが、相談事業は休館中も継続して行った。	
	わいわいひろば	小さな子どもを対象とした、子育て支援を目的とした居場所として、親子遊びなどの催しのほか、子育て相談、短時間保育も行う。	健康福祉課	利用者数	継続	44,841人	30,076人	27,096人	コロナ感染拡大防止のため臨時休館とした期間もあったが、相談事業や一時預かりは休館中も継続して行った。	
	い〜てらす	「遊ぶ」・「つながる」・「楽しむ」をコンセプトに、のびのびと遊べる場・交流と育児支援の提供の場・多世代が居心地よく楽しめる場を提供する。	健康福祉課	利用者数	継続	153,424人	100,118人	90,636人	コロナ感染拡大防止のため臨時休館とした期間もあったが、相談事業や一時預かりは休館中も継続して行った。	
	地域子育て支援センター	保護者の子育てに対する不安・悩みの解消、仲間づくりの場の提供など、地域の子育て家庭への支援を行う。	保育課	施設数	継続	5か所（民間）	5か所（民間）	5か所（民間）	コロナ禍において子どもの居場所が限定的になるなか、感染症の予防対策に配慮しての運営に努めた。	
	放課後児童クラブ（ひまわりクラブ）	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校などに通う子どもたちに、遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る。	こども政策課	施設数	継続	公設：12か所 民間：5か所	公設：12か所 民間：5か所	公設：12か所 民間：5か所	引き続き狭あい化の施設の解消に努める。	
	地域による放課後児童クラブの運営	地域で子育てを支援する環境を育むため、地域コミュニティ協議会が運営を行う。	こども政策課	施設数	増	2か所	2か所	2か所	今後も継続して実施していけるよう支援を行っていく。	
	子育てサロン	子ども同士または親同士の交流や遊びをとおして子育ての情報交換、子育ての不安や悩みを話しやすい雰囲気場の提供を行う。	公民館	施設数	継続	5か所	4か所	4か所	周辺に施設が充実したこともあり、参加者数が減っている。今後利用状況に合った開設を検討する。	
	子育てサロン・サークル活動支援	子育て中の親子の不安・ストレス解消を図り、情報交換、仲間づくりの場の運営を支援するため助成を行う。	区社協	助成団体数	継続・廃止	子育てサロン 7か所 子育てサークル1か所	子育てサロン 6か所	子育てサロン 8か所	子ども食堂の新規立ち上げが2件あった。	
	子育てボランティアの育成	子育て支援に携わるボランティアの養成を行う。	区社協	回数・参加者数	継続	開催なし	開催なし	開催なし		
	他団体と連携した子育て支援講座	子育て支援に携わるボランティアの養成・活動支援を行う。	区社協	参加者数	継続	開催なし	開催なし	開催なし		
	子ども食堂ネットワーク事業	食を通して、子どもたちの生きる力を育むことを目的に、温かい食事と安心できる居場所を提供する「子ども食堂」の立ち上げ・運営支援を行う。	区社協	回数・参加団体	継続	子ども食堂連絡会議の開催 区内運営団体、及び新規立上げ予定団体による情報交換会。 1回 参加者 20名	子ども食堂連絡会議の開催	子ども食堂連絡会議の開催	1回 参加者 11名	1回 参加者 11名

基本目標2 健康で住みやすいまちづくり

◎いつまでも元気にいきいきと暮らしていくことができるよう、健康づくり・生きがいに取り組むとともに、誰にもやさしい生活環境づくりを推進します。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1)心身ともに健康で生きがいを持った生活を送りましょう										
各種がん検診		疾病の早期発見・治療のため、各種がん検診を実施する。	健康福祉課	受診率	継続	胃：32.4%、乳19.5% 大腸：28.5%、子宮23.8% 肺：13.6%	胃：27.7%、乳18.0% 大腸：24.2%、子宮22.4% 肺：8.3%	(集計中)	※令和元年度から保健所作成の各種がん検診年報に統一した。(毎年10月頃作成)	
特定健康診査		メタボリックシンドロームの該当者や予備群をいち早く見つけられる健診を行う。	健康福祉課	受診率	継続	30.01% (3月5日報告分)	25.74% (3月5日報告分)	27.45% (3月5日報告分)		
健康相談		保健師、栄養士等により、健康に関する個別相談に応じ、必要な相談・助言を行う。	健康福祉課	回数・延人数	継続	24回(3会場192人)	21回(3会場72人)	23回(3会場75人)	※コロナ禍により、1回中止となった。	
特定保健指導		特定健康診査でメタボリックシンドロームの該当者やその予備群と判定された人などに、生活習慣を改善するための指導を行う。	健康福祉課	回数・延人数	継続	28回(3会場)74名	25回(3会場)87人	24回(2会場)86人		
依頼健康教育		健康づくりや生活習慣病の予防、また歯の健康を守るための日常生活上の心得や食生活のあり方等について、保健師、栄養士などによる講習会を開催する。	健康福祉課	回数・延人数	継続	41回 653人	20回 196人	29回 401人		
栄養・運動・休養をテーマにした講習会・講演会の開催		健康寿命の延伸を目的に、正しい健康知識を普及啓発するための講演会やコミュニティ協議会などの地域単位でのウォーキング等の運動体験講座を開催する。	健康福祉課	回数・参加者数	継続	【講習会・講演会】 3回 464人 【ウォーキング・介護予防自主グループ支援】 7回 152人	【講習会・講演会】 5回 155人 【ウォーキング・介護予防自主グループ支援】 16回 167人	【講習会・講演会】 4回 104人 【ウォーキング・介護予防自主グループ支援】 12回 141人		
介護予防教室や認知症予防教室の開催		介護などが必要となるおそれのある人に対し、運動器・口腔機能向上、栄養改善の複合型教室や脳活性化のための健康教室を開催する。	健康福祉課	回数・延べ参加者数	継続	【複合型教室】 201回 1904人	【複合型教室】 233回 1,332人 【介護予防教室等】 34回 441人	【複合型教室】 205回 998人 【介護予防教室等】 22回 311人		
食生活改善推進委員の育成		「食生活改善推進委員養成講座(健康栄養セミナー)」の修了生が、生涯における健康づくり活動を、食を通して推進する。	健康福祉課	推進委員数	継続	49人	43人	37人		
運動普及推進委員の育成		「運動ボランティア養成講座」の修了生が、健康づくりのための運動を広めるために活動する。	健康福祉課	推進委員数	継続	33人	25人	24人		
老人クラブ		高齢者が自主的に集まり、相互の親睦、教養の向上、健康の増進、地域社会との交流を図る。	健康福祉課	クラブ数・会員数	継続	46クラブ 2,127人	42クラブ 1,829人	36クラブ 1,424人	コロナ禍により、活動休止や解散するクラブが増加した。	
「地域の茶の間」の立ち上げ・運営支援		地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	区社協	助成件数	継続	月1タイプ：58か所(件) 月2タイプ：15か所(件) 社協助成のみ：1か所(件)	月1タイプ：55か所(件) 月2タイプ：9か所(件) 社協助成のみ：3か所(件)	月1タイプ：48か所(件) 月2タイプ：10か所(件) 社協助成のみ：6か所(件)	運営の相談、支援を随時実施している。	
		地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	健康福祉課	助成件数	継続	週1タイプ：9件	週1タイプ：11件	週1タイプ：13件	運営の相談、支援を随時実施している。	
		「地域の茶の間」の立ち上げ、運営を支援するため、情報提供や交流会、研修会等を行う。	区社協	参加者数	継続	地域の茶の間担当者交流会 1回 90名	地域の茶の間担当者交流会 1回 74名	開催なし	コロナ禍により中止となった。	
元気力アップサポーター事業<再掲>		65歳以上の高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じて、いきいきとした地域社会づくりに貢献するとともに、活動する人自身の介護予防の推進を図る。	区社協	受入協力機関数・登録者数	増	73施設 524人	開催なし	開催なし	コロナ禍により中止した。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(2)安全で快適な生活環境をつくりましょう										
	障がい者住宅リフォーム助成	重度の身体障がい者が自宅で安心して生活できるように、浴室やトイレ、階段などを改造する場合、費用の一部を助成する。	健康福祉課	件数	継続	8件	4件	6件		
	高齢者住宅リフォーム助成	身体機能の低下した65歳以上のお年寄りが自宅で安心して生活できるように、浴室やトイレ、階段などを改造する場合、費用の一部を助成する。	健康福祉課	件数	継続	27件	32件	34件		
	ごみのない美しい東区まちづくり事業	まちの美化と環境保全意識の一層の向上を図り、毎月最終日曜日をごみゼロの日として、身近なところを清掃するとともに、コミュニティ協議会単位で区内一斉清掃を実施する。	区民生活課	参加人数(実施か所)	継続	6,754人(138か所)	5,228人(97か所)	5,347人(106か所)	令和3年度はコロナ禍により、東区12コミ協のうち、2コミ協が清掃を中止した。	
	地域活動補助金【環境美化】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	4件	3件	2件	コロナ禍により中止とした事業があったが、継続的に環境美化活動が行われている。	
	校区交通安全推進協議会育成補助金	校区交通安全推進協議会が行う交通安全意識の高揚及び交通事故防止活動に係る事業費の一部を補助する。	総務課	件数	継続	12件	12件	12件		
	高齢者や障がいのある人などの外出、移動のためのサービスの検討	高齢者や障がいのある方の外出を支援するため、車いすの貸し出しを行う。	区社協	延べ貸出件数	継続	94回	56回	50回	コロナ禍により減少した。	
	障がいを理解するための取り組み	障がい者の社会参加、活躍の場づくりを支援し、障がい者への理解を図る。	区社協	件数	継続	・アートキャンプへの協力 ・障がい者のアート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 24回	・アートキャンプへの協力 ・障がい者のアート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 16回	・アートキャンプへの協力 ・障がい者のアート展示協力「ほうこくの壁」 ・福祉教育「総合学習」における体験学習 26回		

基本目標3 安心・安全に暮らせるまちづくり

◎地域全体で見守りの輪を広げ、災害、犯罪、虐待などの緊急時に助けあえるまちづくりを進めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1) 地域で見守りの輪を広げましょう										
	見守り訪問による高齢者の実態把握<再掲>	第三者の目が届いていないと思われる高齢者を対象に、見守り訪問を実施して生活の様子を確認するとともに、状況に応じてふさわしいサービスへの誘導を図る。	健康福祉課	訪問件数	継続	7,991件	7,309件	6,100件	介護保険サービスの利用者増加により対象者は減少傾向にある。	
	認知症サポーター養成事業	認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターを養成する。	健康福祉課	受講者数(累計)	継続	899人	64人	230人	コロナ禍により例年より減少した。(令和2年度実績からは復調傾向にある。)	
	民生委員・児童委員の確保	民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、社会福祉の増進に努める民間の奉仕者で、厚生労働大臣の委嘱を受けて各地域に配置されている。	福祉総務課 健康福祉課	配置率(欠員数)	100%(0人)	96.4%(欠員8名)	95.9%(欠員9名)	96.8%(欠員7名)	各地区民生委員児童委員協議会の協力により、新規の民生委員が見つかり、欠員数が減少傾向にある。	
	民生委員協力員の育成	民生委員が担当地区を1人でカバーすることが困難な場合、民生委員協力員1名を配置し、活動の負担軽減や次代を担う民生委員候補者の育成につなげる。	福祉総務課	協力員数	増	6人	7人	8人	民生委員の負担を軽減するためや後任者育成・新任者のフォローなどを目的に活用されている。	
	友愛訪問事業(見守り活動)	見守りが必要な一人暮らし高齢者(原則満75歳以上)等が住みなれた地域で安心して暮らせるよう、地域ボランティアが訪問し、安否確認と孤独解消を図る。	区社協	訪問世帯数・訪問員数	継続	1,592世帯 264人	1,369世帯 284人	1,303世帯 280人		
	おせち料理配食事業の実施	友愛訪問事業対象者にあたたかい気持ちで新年を迎えてもらうため、地域ボランティアがおせち料理を配食し、声かけを行う。	区社協	配食数	継続	1,587食	1,459食	1,382食		
	地区民生委員児童委員協議会との連携	毎月各地区の定例会に出席し、情報交換を密にし、連携した個別支援、地域支援を進める。	区社協	各地区定例会への参加率	継続	95%	95%	95%		
(2) 避難行動要支援者への支援体制を確立しましょう										
	避難行動要支援者名簿登録制度	高齢者、障がい者、要介護者など災害時に自力で避難できない人などを対象に名簿を作成し、地域の自主防災組織などに配付し、災害時に地域で支援する体制を確立する。	健康福祉課 総務課	登録者数	継続	4,415人	4,822人	4,374人		
	自主防災組織	地域の住民の、「自分たちのまちは自分たちの手で守る」という共助の精神に基づき、地域の防災活動の拠点として結成される。	総務課	組織数・組織率	継続	124団体 97.3%	124団体 97.3%	124団体 97.3%	令和2年度コロナ禍により減少したが、令和3年度は回復傾向にある	
	協力自治会	災害時に支援協力をお願いできる自治会・町内会	総務課	団体数	継続	11団体	11団体	10団体		
	「きらりん救急情報キット」配付による緊急時・災害時の支援	高齢者や健康上不安を抱える方の安心・安全を守るため、かかりつけ医や緊急連絡先等の情報を保管するキットを配付し、緊急時・災害時に備える取り組みを進める。	区社協	登録者世帯・利用者数	継続	6,951人	7,113人	7,218人		

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(3) 地域で防災・防犯・交通安全対策を進めましょう										
	自主防災組織結成・育成の支援（自主防災組織結成助成）	自主防災組織が結成され、結成の届出後1年以内に自主的な防災訓練を実施した場合に助成を行う。	総務課	件数	継続	2件	0件	0件	令和3年度自主防災組織の新規立ち上げが無かったため0件となった。	
	防災訓練の実施	自主防災組織が自主的に実施する防災訓練	総務課	件数	継続	105件	24件	39件	令和2年度コロナ禍により減少したが、令和3年度は増加傾向にある	
	防災訓練への支援（自主防災組織活動助成金）	自主防災組織が実施する防災訓練に必要な防災資機材の購入等経費の一部を助成する。	総務課	件数	継続	99件	20件	32件	令和2年度コロナ禍により減少したが、令和3年度は増加傾向にある	
	防災講座の開催	避難場所や避難のしかた、地形などの特性、日ごろからの備えなどについて、市の職員が講師となり講座を行う。	総務課	開催回数	継続	49件	18件	26件	令和2年度コロナ禍により減少したが、令和3年度は増加傾向にある	
	避難所運営体制検討会の開催	平常時から、避難所ごとに『避難所運営マニュアル』の作成や運営方法などについて、あらかじめ共通認識を持つとともに、顔の見える協力的体制づくりを行う。	総務課	開催回数	継続	1回	1回	1回		
	防犯ボランティアネットワーク事業	各地域において防犯パトロールなどの防犯活動に取り組んでいるボランティア団体等のネットワーク形成、地域同士の情報共有・連携、活動支援を図る。	総務課	登録団体数	継続	44団体	45団体	46団体		
	地域安全マップの作成	犯罪が起こりやすい危険な場所を地図にまとめ、子ども自身の危険予測や危険回避能力を高めるとともに、作製に関わる大人と地域の防犯力を高める。	総務課	実施団体数	継続	5団体	1団体	1団体		
	交通安全教室の実施	幼稚園・保育園の児童や小学生、高齢者等を対象に交通安全教室を実施し、安全な交通ルールの啓発を行うことで、事故のない安心安全な暮らしを目指す。	総務課	実施回数・参加人数	継続	実施回数 124回 参加人数 6,141人	実施回数 163回 参加人数 8,381人	実施回数 92回 参加人数 4,374人	コロナ禍により開催回数が減少した時期もあるが、今後も要望に応じて継続的に実施する。	
	防犯灯設置補助金	自治会・町内会などが自主的に設置管理する防犯灯を対象に設置費及び電気料の一部を補助する。	地域課	件数	継続	78件	92件	83件	令和3年度末時点で、防犯灯全体の約98%がLED化された。	
	地域活動補助金【防災・防犯】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	11件	7件	9件	新たな事業の申請を受け件数が増加した。	
	災害ボランティア講座	東区で災害が発生した際に、区社協が中心となり様々な団体と連携して災害ボランティアセンターを運営するため、関係機関と災害ボランティア講座を開催する。	区社協	開催回数・参加者数	継続	災害ボランティアセンター研修（支会役員向け） 参加者 44人	災害ボランティアセンター研修（支会役員向け） 参加者 44人	開催なし	コロナ禍により中止となったが、同内容で令和4年12月頃に開催予定。	

基本目標4 だれもが集まれる機会・場づくり

◎誰もがいつでも気軽に立ち寄れる交流の場をつくり、地域で楽しく交流できる場の確保と活動参加の促進に努めます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1)気軽に立ち寄り、交流できる「場」をつくりましょう										
	学校開放事業	生涯スポーツ・生涯学習の振興を図るため、学校教育に支障がない範囲で市立学校の施設を開放する。	地域課	実施校数・利用者数	継続	21校 4,294人	21校 4,210人	21校 4,384人	市民の体育活動や地域活動の普及・推進、子どもの健全育成を図ることができた。	
	コミュニティ活動設備整備補助金	地域活動に必要な高額設備（備品）の整備について費用の一部を補助する。	地域課	件数	継続	13件	12件	14件	これまで同様多くの団体から申請を受けている。	
	「地域の茶の間」の立ち上げ・運営支援<再掲>	地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	区社協	助成件数	継続	月1タイプ：58か所(件) 月2タイプ：15か所(件) 社協助成のみ：1か所(件)	月1タイプ：55か所(件) 月2タイプ：9か所(件) 社協助成のみ：3か所(件)	月1タイプ：48か所(件) 月2タイプ：10か所(件) 社協助成のみ：6か所(件)	運営の相談、支援を随時実施している。	
		地域に住む子どもから大人まで誰もが気軽に集まって過ごすことができる居場所「地域の茶の間」の普及を図るため助成を行う。	健康福祉課	助成件数	継続	週1タイプ：9件	週1タイプ：11件	週1タイプ：13件	運営の相談、支援を随時実施している。	
		「地域の茶の間」の立ち上げ、運営を支援するため、情報提供や交流会、研修会等を行う。	区社協	参加者数	継続	地域の茶の間担当者交流会 1回 90名	地域の茶の間担当者交流会 1回 74名	開催なし	コロナ禍により中止となった。	
(2)地域でふれあい、交流できる機会を増やしましょう										
	老人憩の家及び老人憩のフロア	高齢者に対し教養の向上やレクリエーション等のための場を提供し、高齢者の心身の健康の増進を図る。	健康福祉課	利用者数	継続	82,815人	46,589人	49,834人	コロナ禍対策のための施設休館があり、例年に比べ利用者数が減少となったが、令和2年度よりも若干増加している。	
	地域活動補助金【イベント等】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	12件	5件	3件	コロナの影響で中止とした事業が多かったが、新規の申請もあった。	
	地域ふれあい事業への支援	地域住民による助けあい、支えあう地域づくりを推進するため、住民同士の交流を目的に行われる活動に対して助成を行う。	区社協	助成件数	継続	【地域ふれあい事業】 121件 【福祉施設地域ふれあい事業】 23件	【地域ふれあい事業】 10件 【福祉施設地域ふれあい事業】 4件	【地域ふれあい事業】 17件 【福祉施設地域ふれあい事業】 6件	令和元年度までは申請件数が年々増加傾向であったが、コロナ禍により事業中止が相次ぎ申請件数減が続いている。	
	歳末たすけあい事業への支援	歳末時期に、地域住民や福祉関係者が協働で行う交流会事業に助成を行う。	区社協	助成件数	継続	【地域歳末たすけあい事業】 84件 【福祉施設歳末たすけあい事業】 11件	【地域歳末たすけあい事業】 15件 【福祉施設歳末たすけあい事業】 0件	【地域歳末たすけあい事業】 26件 【福祉施設歳末たすけあい事業】 2件	令和元年度までは申請件数が年々増加傾向であったが、コロナ禍により事業中止が相次ぎ申請件数減が続いている。	
	敬老祝会助成事業	9月～10月に実施する、高齢者（75歳以上）の長寿をお祝いし、地域交流を目的とした敬老祝会に対し一部助成を行う。	健康福祉課	助成件数	継続	65件	12件	0件	コロナ禍により令和3年度は事業を休止した。（令和4年度～再開）	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(3)地域の学校や、いろいろな施設・団体と交流しましょう										
	「ぶちショップ東区」の実施	障がい者施設の自主製品の販売を通じた交流	健康福祉課	参加団体数	継続	11団体	11団体	11団体		
	思春期健康教育	思春期の子どもを対象に、「思春期の心と身体の変化」、「性」、「生命」、「性感染症予防」などをテーマに健康教育を実施する。	健康福祉課	実施校数・参加者数	継続	中学校：2校 312人	小学校：1校 25人 中学校：2校 292人	小学校：1校 31人 中学校：6校 788人	中学校は区内全8校で実施を計画していたが、コロナ禍により2校実施できず。	
	子どもふれあいスクール事業	小学校の施設を活用して、子どもたちに安心安全な遊び場を提供するとともに、異年齢交流や地域の大人との交流、地域の教育力の活性化を図る。	地域教育推進課	実施校数・参加者数	継続	12校 27,952人	9校 5,223人	9校 5,237人	令和2年度に引き続き、コロナ禍により3校が活動を見合わせた。9校の総実施回数は、123回で令和2年度の151回より減少したが、総参加者数は微増した。	
	大好きにいがた体験活動「地域と学校ウエルカム参観日」	「大好きにいがた体験事業」及び「地域学校協働活動」の推進、啓発、成果発表のため、各学校の取り組みを校区民、市民や教職員に公開し、成果や課題を共に考え、「学・社・民の融合による教育」の推進を図る。	地域教育推進課	実施校数	継続	2校	2校	1校	令和3年度実施校：石山中学校 コロナ禍ではあったが、プログラムや人の動線を工夫したうえで活動を実施した。アンケートの結果、活動に対する肯定的な意見が90%を超えていた。	
	地域活動補助金【教育】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	4件	1件	0件	コロナ禍の影響により事業が実施されなかった。	
	福祉教育・体験学習への協力	区内の小中学校等の総合学習の支援を通し、障がい者、高齢者など地域に暮らすさまざまな状況にある人々への理解を深める活動を行う。	区社協	実施校数・参加者数	継続	13校(24回)2,919人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	8校(16回)1,711人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	12校(26回)2,189人 ・総合的な学習に関わる方との情報交換会開催なし	コロナ禍は続いているが復調傾向である。	
	ボランティア(個人・グループ)の交流事業の開催	ボランティア活動者、受入れ団体と情報交換し、ボランティア活動のさらなる推進を図る。	区社協	実施回数・参加者数	継続	ボランティア・サポーター情報交換会 49人	開催なし	開催なし	コロナ禍により中止した。	
	元気力アップサポーター受入施設への働きかけ	元気力アップサポーター受入れ施設の拡充と受入れ施設の情報交換会などを開催し、受入れ施設の支援を行う。	区社協	参加者数	継続	ボランティア受入施設担当者交流会14人	開催なし	開催なし	コロナ禍により中止した。	

基本目標5 情報の提供と相談支援体制の充実

◎必要な人に必要な情報をわかりやすく提供するとともに、誰もが安心して相談や支援を受けることができる体制づくりに取り組みます。

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(1) 必要な人に必要な情報が伝わる仕組みをつくりましょう										
	区だより「わいわい東区」、ホームページによる情報提供	市民生活に役立つお知らせや地域の話題など身近な情報を東区だよりや区のホームページ、スペシャルサイトなどで発信する。	地域課	発行回数 ホームページアクセス数	継続	年24回 46,000部 359,883回	年24回 46,000部 344,306回	年24回 46,000部 460,980回	東区に関する様々な情報や魅力を適切な手段、方法で届けることができた。	
	区だよりなどの点字版・音声版での提供	目の不自由な人で希望者を対象に、市報にいがた・東区だよりの点字版または記事を録音した音声版を郵送する。	地域課	発行回数	継続	年24回(月2回)	年24回(月2回)	年24回(月2回)	東区に関する様々な情報や魅力を適切な手段、方法で届けることができた。	
	子育てガイドブック「ままっぷ」の発行	東区の子育て中の保護者を編集委員とし、子育てに関する情報冊子を発行する。	健康福祉課	発行部数	継続	6,000部	6,000部	6,000部	手に取ってすぐ見れる紙ベース冊子は子育て世代に好評である。	
	依頼健康教育<再掲>	健康づくりや生活習慣病の予防、また歯の健康を守るための日常生活上の心得や食生活のあり方等について、保健師、栄養士などによる講習会を開催する。	健康福祉課	回数・延人数	継続	41回 653人	20回 196人	29回 401人		
	防災講座の開催<再掲>	避難場所や避難のしかた、地形などの特性、日ごろからの備えなどについて、市の職員が講師となり講座を行う。	総務課	開催回数	継続	49件	18件	26件		
	地域活動補助金【広報紙発行】	地域コミュニティ協議会、自治会・町内会、NPOが行う地域課題の解決を図る活動などに対して補助金を交付する。	地域課	件数	継続	5件	3件	3件	コミ協広報紙を継続して発行することで、地域全体に対し活動の周知を行っている。	
	機関紙「東区社協だより」による情報発信	東区社会福祉協議会の事業内容やボランティア情報、地域活動の情報を広く周知する。	区社協	発行回数	継続	年2回	年2回	年2回		
	区社協パンフレットの配付	東区社会福祉協議会の認知度、事業への理解を高め、必要な方へ必要な支援が結びつくよう、広くパンフレットを配布する。	区社協	配布箇所	継続	各事業、研修会、イベント等で配布	窓口等で配布	自治会・町内会回覧、公共施設配架、窓口等で配布		
	ホームページによる情報提供	東区社会福祉協議会の事業内容やボランティア情報、地域活動の情報をホームページを活用し、タイムリーに発信する。	区社協	ホームページ配信アップ数	増	5件	9件	30件	ホームページを活用したPRの充実に努めた。	

活動目標	具体的な取り組み・事業	概要	担当	評価指標	目指す方向	令和元年度(2019)	令和2年度(2020)	令和3年度(2021)	コメント・課題等	委員意見・コメント等
(2)身近な地域での相談支援体制をつくりましょう										
	地域包括支援センターの運営・周知	高齢者がいつまでも住み慣れた地域で生活することができるよう、地域にある様々な資源（保健・医療・福祉）などを活用し、多面的な支援を行う。	健康福祉課	相談件数	継続	34,415件	36,080件	31,665件		
	障がい者基幹相談支援センター東の運営・周知	障がい者（児）が安心して地域で暮らせるよう、障がい者（児）やその家族からの相談を聞き、地域での生活を支援し、自立と社会参加を応援する。	障がい福祉課	相談件数	継続	7,112件	7,156件	7,383件		
	成年後見制度の周知・利用支援	認知症、知的障がい、精神障がいなどによって判断能力が十分ではない人を保護し支援する。成年後見制度を利用する場合に必要な費用負担が困難な人に費用の一部を助成する。	健康福祉課	利用者数	継続	障がい：市長申立1件 助成利用6件 高齢：市長申立12件 助成利用60件	障がい：市長申立11件 助成利用11件 高齢：市長申立19件 助成利用74件	障がい：市長申立0件 助成利用18件 高齢：市長申立19件 助成利用101件		
	東区地域自立支援協議会の開催	東区における障がい福祉に係る地域課題等を協議する。	健康福祉課	開催回数	継続	4回	4回	4回		
	生活保護受給者の自立に向けた就労支援プログラム	ワークポート新潟と連携し、経済的援助を必要とする人の自立支援に向けた就労を支援する。	保護課	参加率(H27～)	30%以上(R3～)	30.0%	21.6%	33.8%	令和2年7月のワークポート併設による就労支援の連携強化が、年間を通して発揮されたことにより、目標の参加率を上回ることができた。	
	学習習慣支援プログラム（低所得世帯の中学生勉強会）	社会福祉協議会と連携し、低所得世帯の中学生の学力向上を支援する。	保護課	参加者数	継続(R3から)	42人	40人	27人	新規参加者数が減少しており、これまで以上に親と子両方へのアプローチが必要である。	
	日常生活自立支援事業の実施	認知症高齢者や知的障がい、精神障がいのある方の福祉サービス利用手続き、金銭管理、書類の預かり支援を通して、地域生活を継続できるようサポートする。	区社協	利用者数・延べ支援回数	継続	認知症高齢者 52人 知的障がい者 23人 精神障がい者 36人 総支援回数1,724回	認知症高齢者 37人 知的障がい者 21人 精神障がい者 36人 総支援回数1,423回	認知症高齢者 人 知的障がい者 人 精神障がい者 人 総支援回数1,303回		
	生活福祉資金の相談・貸付	低所得世帯、障がい者世帯、高齢者世帯などで金融機関や他制度からの借入れが困難な世帯に貸付相談を行う。	区社協	新規貸付・相談件数	継続	相談 114件 貸付 23件	相談 1,794件 貸付 681件	相談 2,831件 申請 877件	コロナ特例貸付の申請増が続いている。	
	関係機関・福祉専門職とのネットワークづくり	多問題世帯への支援など専門職が連携してよりよい支援ができるようネットワークづくりを進める。	区社協	実施内容	継続	東区地域福祉ネットワーク会議の開催 地域住民による支え合い活動団体と福祉専門職との情報交換 参加者47人	開催なし	開催なし	コロナ禍により中止となった。	
	CSWによる情報の提供と相談支援	地域住民や専門職との連携をすすめ、個別課題、地域課題の解決に向けた取り組みを進める。	区社協	相談件数	継続	470件	1,140件	1,042件	コロナ禍で家計の悪化した世帯からの相談が相次いでいる。	
	歳末たすけあいフードボックス事業	生活困窮世帯やひとり親世帯等を対象に、支援の途切れがちな年末年始向けの食糧支援を実施する。	区社協	配布世帯数	継続	-	-	800世帯	健康福祉課の協力を得て、ひとり親世帯への事業案内を拡充した。	